

ミャンマーのセミナー向け医療機器輸入の実例

セミナーでの試用を目的とした医療機器の輸入についての実例

本補助事業において開催を予定したハンズオンセミナーでは、日本光電工業株式会社（以下、「日本光電」という）の筋電計（商品名：NeuropackS1）を2台使用することとした。現地では機材が調達できないため、日本光電は日本とシンガポールにあった貸出機を充当するように移送の準備を進めた。通常の販売目的の機材には、通関時に輸入許可証と関税が必要となるが、今回はセミナーでの試用を目的とした持ち込みであるため、特別な手続きは不要であると考えていた。

しかし、貸出機器の通関準備を進めていたところ、**この場合でも輸入税を伴わない一時輸入許可証が必要であること、また、同時期に通関する場合は、1つの国からの輸入に絞るように当局から指示を受けた**。結果として、急遽日本から2台を輸出する手続きを行った。

なお、**展示会等に展示する場合は、主催者側で出展者全体の機材を取りまとめて一時輸入許可を申請する**ようである。メーカーによれば、今回のように個別での一時輸入許可申請の手続きする事例が少ないとのことであった。**展示会の場合、主催者はライセンスなしで輸入許可証を取得することが可能である**事もわかった。